



発行所  
新潟市万代島  
日本海区水産研究所  
印刷所  
第一印刷所  
株式会社

# 日本海

## 内橋 潔

日本海の各府県水産試験場が出来てから、早いもので五十年おそいので三十年にもなるが、どの水産試験場報告をみても、漁村のことなど一行も書いてないのは妙なことであった。

漁村の経営などという方面のことは、県庁などの行政担当者がすることだとして、指一つ触れなかつたのかもしれない。しかし、水産試験場などが行う指導方面の仕事なども、漁村の人びとの生活の実態をみないでは、十分出来ようとは思えない。

ところが、去る昭和二十八年からはじまつた対島暖流開発調査では、漁村の実態調査も各府県で行われるようになった。そしてその調査報告の類は、年と共に増加し、漁村に対する理解が、一段と深められて来たことは、一つの大きな収穫であった。

今までは、行政担当者などが、漁村の実状を知りたかつたり、検討してみたいと思つても、座右に適當なものがなかつた。と

ころが今では、日本海のどの府県でも、活用し得る文献が、二つや三つは出来ているし、またその文献を基礎として、更に問題を深めたり追究することも出来るわけである。

しかしこれらの報告や文献を私共が役立てようとするなら、それは単なる報告であり、文献の類となつてしまふことはここにいうまでもない。

漁村はいきていて脈動しているのだから、たつた一回調査しておけばよいという性質のものではなく、時に応じて調査と検討が必要である。海の科学的な実態と村の実態がどう結びついているのか、こんなことも更に深く、調べて行くことも必要である。

対島暖流開発調査によつて、海の実相や魚の実態を究明する仕事と共に、漁民がつくる村の実態が日本海側全部と九州海区の二県までも、連絡して調査したことは、今までに無いことで、関係者の努力を多ししとすると共に、今後この種の調査の進展を切に待望するものである。

(日本研所長)

### 夢と希望

鶴川 正雄

どこでもそうであらうが、自分の周りにはいつも幾つかの違った考え方のグループが存在しており、それが折に触れていろいろな形で表現されてくることに気がつくであらう。これらのグループの中で「絶対的なままでの確信らしいものをもっている」と信じこんでいるグループ(盲信であれ、また過信であれ)「何故そうなのかと執拗に掘下げなければ承知しないグループ」

「どつちでもその場の都合のよい方法に従うグループ」の三つの類型が多いようである。そしてそれぞれになかなかのいい分らしいものをもっている。いま、ここでそれぞれの意見を解析して論議する考えなど毛頭もつていない。ただ自分の周囲にはこのような考え方のグループがいつでもグルグル廻っていることは何処でも見受けられる現象であらうことを申述べたにすぎない。

### 将来の水産試験研究に対する夢

しかし私達にとつて大切なことは、もつと身近かなそして切実な問題に対して真面目な態度で献身の努力を尽しているかどうかであり、目の前に現われるいろいろな事象を頭から安直な習慣的概念で極め付けたことにより生起された今迄の数限りない誤りを真剣に反省しない限り、何年経つても空廻りに終るであらう。

「若い世代から夢と希望をとり去れば」

とはよく耳にする言葉ではあるが、夢をそして希望をもつにはまず謙虚な態度で現況を反省し、夢や希望をもてるような職場にすることが先決である。我々のためにも、またこれからの人達のためにもこのような環境を育てたいものである。(青森県水試技師)

南沢 篤

アイストープの応用技術の進歩は魚族の洄游分布を確認し、生産力の測定など海洋構造の究明に貢献し、長期漁況予報も可能となりかつ精度の極めて高いものになるでしょう。

脳を中心とする感覚器管の研究は、現在の火光利用漁法をさらに改良してその習性、反応を利用する新しい漁法に改善普及されて、魚群を希望の所に誘導捕捉できることになるでしょう。

また原子力の利用は、気軽に私達を海中に案内し、長期にわたつて自由に潜水観察が行われるようになるでしょう。

その他、これらの新しい科学の産物は、魚介藻類の品種を改良し、浅海や内水面漁業の増産にすばらしい功績をもたらすことでしょう。(龍井県水試技師)

### 主なる項目 第83号

- 日本海
- 内橋 潔
- 将来の水産試験研究に対する夢
- 雄篔彦平男生一登一郎
- 川沢野島林藤野瀬羽中
- 嘉俊敏健麟 正一
- 鶴南菅児小伊中山丹山
- アメリカ便り
- 魚 探

## Modern Tag

菅野 嘉彦

編集子から人工衛星を吹き飛ばすような夢を寄せてくれと強要されて、第何回かの忘年会の宿酔で痛む頭をかかえながら、いろいろ考えているうちに、机の前に張り出されたポスターが眼に入った。どなたもお馴染の「標識魚を見つけて下さい。薄謝進呈」といつた式のものである。

私は思わず手を打った。これだけ科学の発達している世の中で、こんな原始的な方法は馬鹿らしい。電波とか放射能線を出す超小型の発信装置を魚の尾柄にとりつけて放流すれば、いながらにして(はちよつと無理だが、船で追跡することによつて)測游系統、昼夜の移動、滞泳の要因など手にとるようにはわかるのではないか。まず、さしあたり漂流瓶からとりかかつてよからう。(山形県水試技師)

## 日本海漁業の開発に

## ついでに抱負

兒島 俊平

本年は私が島根県水試に勤務して以来、丁度一昔の十年が過ぎた勘定になる。痛感することは、水試は五十年このかたローカルの研究の美名に隠れて惰眠をむさぼっていることである。種々困難な事情はあろうが、これでは御題目のローカルな成果もあやしく、懸案の漁況予報も氣象庁のごとき秀でた頭脳と組織を持つまでに発展さすことは夢のような話である。ましてや終局の

目的は日本海を自然改造により養魚場として管理するといえよ……。しかし、私は希望を捨てない。世紀の負い手は現場を掌握する水試以外には考えられないからだ。それを夢みて私は私なりの人工衛星を飛ばし続けるつもりだ。

こころみに過去半年間の日本会議の論文数をみると、八〇%が一握りの大学、一五%水研、衰れなかな五%弱が一番大きな施設と人員を容する水試である。だが、衛星は次の衛星を誘発するであらう。しかし以上の場合が大学にとつて代る時こそ、水試は質的革新をなしとげ、大法螺も私の抱負に変ずるであらう。(島根県水試技師)

## 見果てぬ夢

小林 敏男

最近漁況予報について各県ともいろいろ努力をしているが、将来これが相違正確なものになったとして、例えば本年は不漁であらうと予想されたとしても天気予報のごとくそれだけで済ませるものではない。それに対する対策を考えねば我々の仕事は終らない。そもそも日本海方面の漁民は距離二〇〜三〇哩以内の日本海のごく一部分のみを対象として漁業をやつており、その中で沿岸漁民にとつて主要な漁獲物である測游性魚族はとくに年による変動が大きく、本年豊漁で賑つていても、実際は来年の不漁に脅かされているのが現状である。そして漁業に於ける不漁は、農業等に較べるとその波が大きく、致命的な打撃を受ける恐れがある。これら魚族が環境によつて比較的

大きな影響を受けるものとすれば、沿岸漁場が毎年同じ、しかも魚族の来遊に適した環境にあることが望まれるのであるが、それは過去の調査からみて不可能である。過去五十年の対馬暖流その他の調査からみて日本海のかなり沖合にも資源的に有望な水族(サケ、マス、サンマ、スルメイカ、サバ等)の棲息に適した環境があることがかなり明瞭となり、ある種の魚族ではその資源も発見されている。これらの沖合漁場の開発を行い、そこにおける漁業の企業化試験に成功することにより、不安定な沿岸漁業にのみ依存している当方面の漁業をある程度計画的な安定産業にすることが出来るものと思う。これを成功させることはいろいろな困難な問題があるが、それだけにやり甲斐のあることで、我々地方水試にある者の年来の見果てぬ夢である。(兵庫県水試技師)

伊藤 健生

去る年、来る年を送迎し、水産試験場に職をおき、かりそめにも試験研究に従事して考えさせられることは、今行つている試験研究の内容が、研究の成果が、これでよいのだろうかと思わずにはいられない。それは、水産にはあまりにもむずかしい問題が山積し、これをも一つ一つ現実の問題と結び付けていかななくてはいけないからである。試験研究の内容を各機関別にふりわけてみると、大学では基礎的研究を主体に、水試では直接産業と結び付きの濃いもの、水研では両者の中間的なものになりそうである。もちろん、これらは別にどこで切り放すというべき筋合のものではないが、水

試の職員に課せられた試験研究が直接漁業者とつながりを持つものでなくてはならないということに大きい悩みが生じ、反省せざるを得なくなつてくる。幸いに最近漁況予報、漁業技術の改良、普及という水試本来の使命が大きく取上げられ、漁業者と一体となつて試験研究に精励できるようになり、非常にうれしく思つてゐる。一つ今年漁況予報に全智、全能を傾け我が試験研究に対する悩みを吹飛ばしたいと賞悟を新たにした次第である。(山口県外海水試技師)

中野 麟一

漁業者と話し合つたときに受けた質問について、あとで整理してみると、個々には表現が違つているが、内容は同じものが多く、ということ、その質問が、漁業者が同じ生産の場で、誰もが共通に当面する問題であるということであつて、それが生計に直結しているものだけに、一層問題が深刻化されているのである。一方、質問を受けた側では、まだ漁業技術が体系化されていないので、とても漁業者の満足のいくような返答ができない。そればかりでなく、このような問題でも、その場かぎりの質疑応答の形だけに終つてることが多い。これでは、水試が、漁業者から厳しい批判を受けるのも無理からぬことと、いつも反省させられる。そして、問題に対する直接の回答を与え得ないまでも、せめて、漁業者自身の手で、問題を解決していただけるだけのカギでも与えることができればと思う。水産のように、場の複雑なものは、統

一組織化された体制で、試験研究を進めていくことが必要であることは、資源調査や対馬暖流調査が、かなり急速な成果を挙げたことからも、すでに実証済みである。漁業技術の面で、未だにその体制がとられていないという事は、漁業技術が、漁業者ともっとも直結している部門であり、また、熱望されているだけに、おかしなことといわざるを得ない。

漁業技術を、科学として、体系づけていくために、漁民や水試や水研やらの研究体制を整えたいものである。また、この体制が確立されれば、地方水試存在の意義も、もつと明確になつてくることであろう。

(鳥取県水試技師)

山 瀬 登

昨年一〇月二日七尾市で能登総合開発促進協議会が開催された際、これを機会に本県でもこの計画の一環として、能登地方住民の振興意欲を盛りあげて能登乗出し対策を考えられることになりました。古来、能登は日光地としての諸要素を持ちながらあまり知られていなかったが、県当局ではさきにラジオドラマや映画の「忘却の花びら」により日光地ではかなり全国的にアピールしたものの、産産面ではサツパリ地元民の熱意があがつてこないのを、これを機会にとくに水産と畜産に本格的な対策が考慮されることになりました。水産ではとくに加工面が重要視され、日光と並んで名産品と特産品の生産が考えられました。消極的な旧来の慣習から脱皮して、産物の品質を改善して特産品の宣伝を行い、産業的生

産意欲を盛りたてようとの狙であります。

かねて予想した通りこの仕事の一部を荷負せざるを得なかつた。十月の頃より、各位の協力を得て当地方に饒産される、スケトウダラ、フグ、イワシを対象とする食卓用、酒肴用としての次の食料品を試作しました。浜のかをり(干ダラを味付したもの)、笹漬(タラの粕漬)、五色だ(丹尺型及び長さ一寸位に切断したスケトウダラ肉を味付して各種の色に染色したもの)、福の香(フグの卵の味噌漬)、潮香良(フグの卵の塩辛品)、フグの味噌乾、タラの佃煮等その他を含めて約一五種を試作し、県商工観光課、業界及び能都町主催の農水産加工共進会に出品し、さらに将来県外部市への進出を狙うため、一部を東京三越本店食品部に持ち運び専門家の批判を仰ぎました。思えば恐ろしい心臓だつたと思えます。もちろん、この仕事は初めての試みで期待をかけてやつたわけでもなく、まして経験の浅い私として、何か足掛りをとそれだけが狙いでありました。

製品の品質、容器、包装その他についての批判好評はいろいろと細部について御指導にあずかりました。製品の匂い、味、外観についての同様な共通的な批判は予期していましたが、容器、包装等のデザインの設定及び経営については大衆性と低廉性が強調されました。

もとより自信があつての仕事でないだけに、各位より受けた意見及び新しい智識は今後この仕事を続けていく上において大変興味と自信が持たれるようになりました。重要な地方産業の振興のために、県民の一員として微力を尽くしたいと思えます。

(石川県水試技師)

丹 羽 正 一

水産の試験研究畑に従事している私は此頃農業方面でみられるような、試験研究体制に羨望の眼をそそいでいる。過去三カ年連続の農作は技術面の勝利といつても過言でない。

漁業方面を振り返つてみると旧態依然の状況を呈しているが、今年こそはこの厚い壁を破らねばならない。それにはまず第一に、漁況予報の正確さを私は願っている。何時何処でどのような魚がどれほど漁獲されるかを正確に予報することが大きな希望である。

第二は漁具漁法に科学的体系を確立し、如何なる魚は如何なる海でどのような方法で漁獲できるかを公式的に表わし、これが理解できるように漁業者の科学知識を増加させた。

この二つを最終の目標として一九五八年のスタートとした。一歩一歩理想に近づきたいと念願している。(新潟水試技師)

アメリカ便り (三)

山 中 一 郎

新年おめでとうございます。今日は印象の深かつたクリスマス前後の様子をお知らせしましょう。

私のみたところ、クリスマスに近ずいたことを知つたのは、十月頃早くも文房具店等にクリスマスカードが現われてきたのが始まりです。十一月に入ると、気の早い商店でクリスマス大売出が始まり、新聞には毎日のようにプレゼントの売出広告が賑や

竜宮からの便り

日本の皆様明けましておめでとうございませう。昨年また原爆とかいう恐ろしい実験が私共の近辺で行われ大騒ぎをしました。私達は皆様にたくさん利用してもらうために資源の増加に鋭意努力してきました。しかし、こんな実験をされたのでは子孫の維持も危うくなりませうから止めていただきます。

昨年はイワシやタラなど不漁だつたといわれますが減少したのではないのです。皆様のとり方が下手なのです。沖合や深層にはまだ利用されていない連中も大勢おります。自然環境の悪化によつて死んだり、遠くに逃げることもありませうが、なんとか資源量だけは確保しております。自然の方に逆らつてはできません。皆様に近づくところを早くみつけて大量に連れていくてくださ。また、腐らせて無駄死させ



人工の星がまだ見たこともない空の彼方に飛んで行つたという事です。が、上ばり見えていないで海の中もぞいてもらいたいです。進歩した科学の粋を集めて思ふ存分調査されるよう希望します。まもなく、フランスの潜水艦が日本海溝調査に来るそうです。こんな機会が多くなることを切望します。年令が若返りするのは宇宙の果ばかりではありません。海の底でも可能なことは浦島太郎が実証済みです。こんどおいでになるときは、煙の玉手箱ではなく、豊富な海幸をいっぱい差上げましょう。皆様おそろいで御訪問されますよう慈鯛を振つて御待ち申し上げます。

かに紙面をうずめています。十一月末にはサンクスギビングがあります。これがクリスマス前の前奏曲で、十二月に入ると急にクリスマスが近づいた感じで、通りにもツリーが飾られ色電球がつきだし、道の広場もどこの店も飾りつけ道具で一杯になります。(よく見ると箱にMADE IN JAPANとかいてあります)家々はツリーが窓の外からもよく見え、戸口には丁度日本の松飾りのように赤いリボンで結んだ松が飾られます。クリスマスカードは十二月十日頃からくばられ、どの家でも炉の上やピアノの

上に並べています。研究所でも、図書館の入口に陳列台が作られ、世界各国の研究者からのクリスマスカードが百数十枚も飾られています。木版画になった日本のも数枚あり目立っていました。各研究室もそれぞれ飾りつけをしています。町は案外静かです。日本の歳末のような騒々しさはなく、普通は六時にしめる商店も十二月だけは九時頃まで開いています。日本の馬鹿のひとおぼえのようにジングルベルをやかましくがなりたてることはなく、美しい讚美歌クリスマスカロールをチャイムやパイプオルガ

### 謹賀新年

一九五八年元旦

#### 日本海区水産研究所

所長 内橋 潔  
庶務課 堀田 勇

資源部

加藤 源治

第二旭丸

桜井 恵子

奥西 勉  
大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

香住支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

大森 昭三  
少作 昭三  
柴田 昭三  
結城 昭三  
本城 昭三  
森田 昭三  
大内 昭三  
坪内 昭三  
野口 昭三  
佃 昭三  
山本 昭三  
山本 昭三  
永原 昭三  
宮原 昭三

伊東 祐方

伊東 祐方

浦郷支所

宮田 和弘

ンでやっているので気がよいのです。スクリブス研究所は十二月二十一日から二十五日までクリスマス休暇に入りました。二十日午後は研究所全体の、二十一日は水研だけのパーティーがそれぞれ開かれました。パーティーといつてもスナックパーティーで、室の一隅に飲物や食物をおいてあり、みんな適当にそこに行つては好きなものを飲み食いし、あとは話し相手をみつけてしゃべつたりレコードをかけたりますだけです。

日本と違つて酔漢が街を高歌放吟しながら横行する光景はみられません。オートバイやジープに乗つた交通調査がやたらに多いのに気がつきません。米国ではよつばらい運転は重罪とされてお、罰金や体刑は免れず、一回で五回の交通規則違反と同格に、二度目は免状と上げという処分です。十二月二十四日は各教会で一齊に礼拝があり町には讚美歌が流れます。二十人位一組でカーに分乗した聖歌隊が信者の家を廻つてあるきます。サンディエゴ近郊の町は案外静かで、狂騒曲を想像していた私は意外の感がありました。街に輝やく色とりどりの飾り電球、教会の鐘の音、クリスマスカロールなど、雪のない南国とはいえずはり本場の国だけあつて「聖夜」というにふさわしい情景です。また、日本でみられないのは、教会の門前にはどこもキリスト誕生の様、つまり馬小屋の中でマリヤが赤ん坊のイエスを抱いている前に、東方の三人の賢者が献物をもつて礼拝し、天使が「Glory to the heaven, peace to the world, good will to human」と歌っている場面を人形で飾っています。私も知人の紹介で礼拝に出席し、クリスマスカロール

の聖歌隊に加わつて歌つて歩きました。ずいぶん心臓だと思われるかもしれませんがこれも得難い経験です。七面鳥ですか？ もちろん食べましたが、マグロのような味がします。こちらの人にいわせると、マグロが七面鳥のような味なのだそう。日本では御用納めと正月休みを楽しんでいることですが、こちらはクリスマスがすむと気がぬけたようにぼんやりしています。正月は一日休みがあるだけで特別なことはなにもありません。正月料理といつてもハムを食べる位のもです。近くイワシ会議が開かれますので忙しくなります。遠く海を隔てたアメリカの地から、皆様の御発展をお祈り申し上げます。

自然科学の道を進む者には益も正月もなるとよくいわれますが、カレンダーが新しくなるときには、去る年のでき事を省み、新しい年に大きな希望を抱くのは人間の常のようです。この連絡ニュースも号を数えて八十三になり、記録のほかに主張や意見を織りまぜながら、親しく皆様に供して参りましたが、今年からは編集委員会を一層充実して、調査研究の発展と便宜のためにさらに努力を続ける決意を新たにしておりますので、今後とも御寄稿その他に可愛がつて育てて下さるよう御願いたします。今月号は、水産試験場の第一線に御活躍の方々から、将来の水産研究に対する夢や日本海漁業の振興に対する豊かな抱負と希望をたくさん頂戴いたしました。ここに紙面をさいて厚く御礼申し上げます。過去に築かれました偉大な業績を基礎として、原子力に勝るともおとらない熱意を燃やしつづける皆様の御活躍を心から期待いたします。

### 編集後記